

千葉商科大学人間社会学部 ウェルビーイング研究シンポジウム

問いとしてのウェルビーイング

～人・社会・自然の観点から考える～

本シンポジウムが目指すのは、社会構造に潜む「暴力」を発見する力としてウェルビーイング概念を捉え直すことです。昨今、ウェルビーイングをめぐる議論が活性化する一方、この概念は幸福感や健康といった個人の状態を測るものと捉えられがちでした。

これに対して、私たちは「人・社会・自然のよい状態」を問い直し、ウェルビーイングの実現を阻むものについて、不平等や差別、環境問題などのテーマを通じて考えてきました。サステナビリティやケイパビリティといった近接概念を交えつつ、参加者のみなさまとともにウェルビーイングについて考える場といたします。

〈開催概要〉

- ・日時：2025 年 9 月 19 日（金）13：30～18：10
- ・場所：千葉商科大学 本館 7 階 大会議場（対面実施のみ）

〈主なプログラム〉

- ・13：45～14：30 基調報告 <45 分>
「人・社会・自然のウェルビーイング―構造的暴力を補助線として」
荒川 敏彦・伊藤 康・権 永詞（千葉商科大学 人間社会学部教授）
- ・14：30～15：30 招待講演 <60 分>
「持続可能な発展とウェルビーイング」
諸富 徹 氏（京都大学 公共政策大学院 教授）
「サステナビリティと共鳴する価値観の再構築～ウェルビーイングを未来につなぐために～」
今津 秀紀 氏（SustainWell Imazu 代表／元 TOPPAN 株式会社 SDGs 事業推進室 室長）
- ・15：45～16：45 パネルディスカッション <60 分>
諸富 徹 氏・今津 秀紀 氏・伊藤 康・田中 信一郎（千葉商科大学 人間社会学部教授）
【ファシリテーター】齊藤 紀子（千葉商科大学 人間社会学部教授）
- ・17：10～18：10 交流会 <60 分>



100年いきる良識を。
CUC 千葉商科大学

みんなの願いを、やりたいことに。
 **人間社会学部**
Faculty of Humanities and Social Sciences

〈申し込み方法〉

本学 Web サイトよりお申込みください。

Web サイト URL：https://www.cuc.ac.jp/event/2025/hss_wellbeing0919.html

なお、同日 9：15 からは「千葉商科大学サステナビリティ研究会」が本学 1 号館 1 階 1104 教室で開催されますので、よろしければあわせてご参加ください。

Web サイト QR コード



本シンポジウムのテーマに関連する研究成果をまとめた書籍『問いとしてのウェルビーイング』（中央経済社、2025 年 9 月発行予定）を、会場にお越しの参加者のみなさまに進呈いたします。
※書籍名、章タイトルは一部変更になる可能性があります

書籍目次

問いとしてのウェルビーイング——構造的暴力を克服するために

序章 構造的暴力を補助線として「人・社会・自然のウェルビーイング」を考える

第1部 問題提起：構造的暴力のありか

第1章 健康の脱自明化——ウェルビーイングの条件を拡張するために

第2章 幸福追求の陥穽——個人主義的な幸福観についての批判的検討

第3章 地球を社会の一員として考えてみる——テレストリアルたちのウェルビーイング

第2部 問題の所在：構造的暴力のあらわれ

第4章 自然のウェルビーイングを維持するためには何が必要か——「科学」の役割を考える

第5章 排除と差別の現在地——マジョリティのアイデンティティ・ポリティクスから考える

第6章 ウェルビーイングと地域共生社会の捉え方

第3部 問題の解決：構造的暴力の克服

第7章 多様な選択肢のある社会づくり——市民の役割とその促進

第8章 サステイナブルな都市の創造

第9章 生命系の世界をひらく有機農業——自然と人間の共存を求めて

第10章 地域通貨を活用したエシカル・ツーリズムの可能性の検討——沖縄県宮古島市の
「理想通貨」の事例から

終章 ケイパビリティ・アプローチからウェルビーイングを考える

共催：千葉商科大学 人間社会学部・千葉商科大学 サステナビリティ研究所

チラシデザイン：千葉商科大学人間社会学部3年 武田彩華